

赤平

赤平市ルートマップ

たんこういさん
炭鉱遺産をめぐり、
そらちがわいこあかびら
空知川に憩う赤平ルート

JR赤平駅からスタートし、炭鉱のまち・赤平市の歴史をめぐりながら、現在の魅力も満喫するコース。炭鉱遺産をチェックして、「母なる川」空知川を渡る周回ルートです。

Footpath Information ルート情報

スタート	J R 赤平駅
ゴール	J R 赤平駅
距離/所要時間	約8km/約2時間15分
休憩所/トイレ	J R 赤平駅、警察署横のコミュニティ広場、赤平公園ほか
駐車場	J R 赤平駅、赤間スリ山ほか
利用可能期間	通年(案内看板は冬期間なし)
問合せ	赤平市企画財政課 電話 0125-32-1834

Information Icon ルート記号

- 花を見ることが出来るスポット
- 景色がよく、写真を撮るのに最適な場所
- 動物や野鳥などを観察できる場所
- 時期により熊への注意が必要な場所
- トイレ コンビニ 駐車場 バス停
- 小・中学校 消防署 郵便局
- 市役所 神社 寺



●赤平市フットパス/難易度目安

…市街を中心に、平坦な道を歩くルートです。

●アドバイスと注意点

コース全体に高低差がなく、歩きやすいですが、日差しをささぎるものがないので、帽子や飲料水などの用意が必要。草むらに入る際は、虫などに気をつけて、防虫剤の携帯がおすすめです。

アクセス&インフォメーション

■公共交通

J R札幌駅からJ R滝川駅まで特急で約50分
根室本線富良野方面行普通列車に乗換J R赤平駅まで約15分
J R旭川駅からJ R滝川駅まで特急で約30分
根室本線富良野方面行普通列車に乗換J R赤平駅まで約15分
札幌駅前バスターミナルから中央バス「高速ふらの号」で「赤平駅前」まで約1時間25分

■自動車利用

札幌から道央自動車道滝川IC経由で約1時間20分
旭川から道央自動車道滝川IC経由で約50分

[交通の問合せ先]

J R赤平駅 電話 0125-32-1017
北海道中央バス札幌ターミナル 電話 011-231-0500



昭和15年に開校した赤間小学校(旧赤間尋常小学校)があります。既に校舎は新しくなっています。

スタートはJR赤平駅。駅を出たら、前方に「塊炭館」の看板が目印の米田商店があるので、その前の信号を渡って右に進むとすぐに「ローソン」があります。

道沿いの建物の間から、線路向こう側にある「旧住友赤平立坑」の外観が、緑豊かな山を背景にちらちら見えてきます。

小学校前の歩道橋を渡ると、鉱業学校の跡地を見ることが出来ます。

橋の上から豊里のズリ山を望めます。

左に行くと「赤平公園」があります。休憩スポットにおすすめです。

街路樹が整備された「こもれば通り」を立坑を目指して進みます。

Footpath Route

炭鉱遺産を訪ね、
今のまちの魅力も実感

多くの炭鉱が操業し繁栄してきた炭鉱のまち赤平市。最後の閉山は平成6年。まちのシンボルだった赤いネオンが輝く立坑と周囲の一部施設は今現在も当時のまま残されています。まずは、炭鉱が開発されるきっかけとなった「露頭炭(ろとうたん)」を確認してから、炭鉱跡へ。赤平橋、虹かけ橋などまちの発展と深く関わる見どころも巡ることで、赤平市の生きた歴史を垣間見ることが出来ます。

1. 赤平駅前
2. 赤平橋
3. 赤間スリ山
4. 赤間スリ山777階段
5. 赤間スリ山777階段
6. 赤間スリ山777階段
7. 赤間スリ山777階段
8. 赤間スリ山777階段
9. 赤間スリ山777階段



Footpath Area

A 御殿倶楽部(通称「山田御殿」)

炭鉱最盛期の昭和26年、地元商人により建てられた総鉄田杉造りの通称「山田御殿」。国道38号沿いにあり、現在は改修され蕎麦屋としてその姿を残しています。和洋折衷のモダンな雰囲気はとても魅力的。

■住所/赤平市大町1丁目3 ■電話/0125-32-2290



B 露頭炭(ろとうたん)

安政4年、幕府から蝦夷地調査の命を受けた松浦武四郎が空知川沿いに露頭炭の炭層を発見。後に、米国人地質学者ライマンや榎本武揚らが空知の地質調査に入り、赤平周辺で露頭炭を確認。明治28年から本格採掘が始まりました。

■住所/赤平市赤平668 ■電話/0125-34-2311(赤平市教育委員会)

C 旧住友赤平立坑

まちのシンボリック建造物、立坑やぐらは、昭和38年に完成。高さは43.8mあり、550mの深さまで鉱員を送る一方、採掘した石炭を引き揚げ、完成当時「東洋一」といわれました。機械、電気系統などが当時のまま残されており、現在でも動かすことができるそうです。鉱車操作場や繰込場なども残され、隣接する事務所には膨大な量の坑内図や資料が閉山時のまま保管されています。普段は敷地外より外観のみ見学可能ですが、イベント開催時には一般公開も行われています。

■住所/赤平市赤平485 ■電話/0125-34-2311(赤平市教育委員会)



D 赤間の選炭場

赤平スリ山階段の入口にあたる場所には、登山通路の左側に3列のベルコン斜路、原炭ポケット、選炭工場が配置されていました。現在は選炭工場の一部が炭鉱遺産として保存されており、その存在は圧倒的。草むらに分け入り、ぜひ近くで観察してみましょう。ただし欄内は立入禁止。

■住所/赤平市赤平693-1 ■住所/赤平市赤平693-1



E 坑口浴場

石炭を掘り終えた鉱員たちは、仕事を終えると、地下歩道を通り、向かいにある坑口浴場で、ススを洗い流していました。現在は、静かに佇む外観のみが見学できます。

■住所/赤平市赤平552-1



F 美園の入気坑

入気坑は、ガス排除、酸素供給、坑内温度調整のために、坑外から坑内作業場に新鮮な空気を送る空気の入口。頂上には展望広場があり、市内はもちろんだ、芦別岳、十勝岳までも一望できます。途中の休憩所でも休ませて、ぜひ近くで観察してみましょう。体力に自信がある人は挑戦してみてください。

■住所/赤平市赤平693-1 ■住所/赤平市赤平693-1

周辺のみどころ



●赤平オーキッド

12棟の温室を構え、コショウランの栽培では道内最大級を誇る「赤平オーキッド」。温度・湿度・日照時間など育成管理を自動制御で行なうと共に、地中熱を活用したエコシステムで、コショウランの周年開花を実現。500品種ものコショウランを育成できる独自の培養技術は業界屈指です。温室いっぱい咲き誇るコショウランは、愛好家ならずとも感動する眺め。

■住所/赤平市百戸町西6丁目26 ■電話/0125-32-6331
■時間/9:00~17:00(12:00~13:00昼休)
■定休/無 ■駐車場/有

●エルム高原温泉「ゆったり」

家族旅行村を中心にコテージやアウトキャンプ場など、多彩な施設でアウトライフを楽しめるエルム高原。日帰り入浴施設「ゆったり」では、澄み渡る空気に包まれながら高原を一望できる露天風呂をはじめ、ジャグジーやサウナ、打たせ湯など多彩なお湯を楽しめます。館内にはレストランや売店、湯上がりにつくろげる大広間もあります。さらにアウトドアリゾート気分を満喫するなら、隣接するコテージ「虹の山荘」がおすすめ。

■住所/赤平市幌岡町377 ■電話/0125-34-2155
■時間/10:00~22:00(最終入館21:30)
■料金/大人(中学生以上)500円、子ども300円、幼児無料
■定休/無 ■駐車場/有

●赤平神社

赤平神社の歴史は古く、明治28年にまで遡ります。石川県から入植した人々が、村落の幸福を祈り天照大神を奉斎。その後、炭鉱開発に伴って大正7年に大山祇大神を合祀しました。毎年9月の例大祭には道内各地の神輿会が集まり、賑々しく厳かに市を巡行する神輿渡御が行なわれます。

■住所/赤平市泉町4丁目3 ■駐車場/有

特産品

●がががん鍋

赤平名物「がががん鍋」は豚のホルモンを豆腐や野菜と一緒に煮込んだ鍋料理。炭鉱長屋のストローを仕事仲間や家族と囲んで食べたという、懐かしのスタミナ料理に注目したご当地鍋です。市内の飲食店ではそれぞれが工夫を凝らし、自慢の「がががん鍋」を提供しています。

- 八千代寿司 ■住所/赤平市本町2丁目1-5 ■電話/0125-32-2065
- 暖らん ■住所/赤平市本町1丁目2 ■電話/0125-32-5217
- 珍来 ■住所/赤平市大町1丁目2-23 ■電話/0125-32-2628
- 寿司の松川 ■住所/赤平市大町1丁目2-16 ■電話/0125-32-3065
- 焼肉のたきもと ■住所/赤平市茂原中央町南1丁目7 ■電話/0125-32-2265
- スナックメトレス ■住所/赤平市本町2丁目4 ■電話/0125-33-7012



●山平菓子舗

ふわふわのたまごパンにメロンパン、小さめサイズの角食パン…。「山平のパン」と印刷された袋入りのパンは、素材で懐かしい味わい、大人はもちろんだ、子どもにも人気で、おやつにもおすすめです。種類によっては早くに売り切れてしまうので、取り置きか予約されるのがおすすめです。

■住所/赤平市泉町1丁目2-2 ■電話/0125-32-2720
■時間/8:30~18:30(日・祝日~18:00)
■料金/ココナッツロール180円ほか
■駐車場/無

●塊炭館(かいたんあめ)

黒く輝く石炭の塊を模してつくった赤平市の銘菓。道産ビーに天然ニッキを加えた餡を、ハンマーで割ってつくり、やさしい甘味と独特の香りが持ち味で、製造を手がける石川商店では炭鉱で賑わっていた戦前から、その製法も味も変えていません。

■住所/赤平市茂原元町南5丁目7 ■電話/0125-32-3288
■時間/8:00~17:00 ■料金/315~1,575円
■定休/不定 ■駐車場/無

Event

- らんフェスタ赤平
道内最大規模の「ラン」の展示会。期間中、会場では講演会やランの珍種・奇種を集めた特別展示、中空知の食と観光・物産フェア、屋外園芸市などを開催。屋外飲食コーナーでは赤平グルメも味わえます。
■開催日/4月中旬 ■会場/赤平市総合体育館(赤平市東大町3丁目4)
■料金/大人1日券500円、当日800円※高校生以下無料
- あかびら火まつり
「炭都の火を消してはいけない」という若者たちの思いから生まれた夏の一大イベント。タイムツツを掲げたふんし姿のランナーが山を駆け上がり、炎をともす火文字焼きは感動的。年々盛り上がりを見せる市民踊りや神輿渡御が、赤平市の夏を熱く盛り上げます。
■開催日/7月第3週 ■会場/赤平市コミュニティ広場(赤平市東大町3丁目)
- 産業フェスティバル
「ものづくりのまち赤平」を広くPRするため、市内でつくられた農産品や加工品、工業製品などを一堂に集めて展示販売。当日は飲食コーナーや子供緑日、福引やお楽しみ抽選会なども行われます。
■開催日/10月中旬 ■会場/赤平駅前広場及び交流センターみらい(予定)